

ごあいさつ

小丸川発電所は、上部と下部に調整池を造り、下部調整池から上部調整池に揚水して水を貯めておき、必要な時に発電を行う揚水発電所です。揚水発電は大容量で、停止状態から起動して全出力を発生するまでの時間が火力発電などに比べて数十分の一と非常に短く、また、運転中は即座に出力調整を行えることから、大型電源のトラブル発生時や需要の大きな変動に対応できる電源として2007年7月の初号機運転開始を目指して建設しています。

小丸川発電所地点は、宮崎県中部の豊かな自然環境の中にあり、工事着手前の環境調査でも貴重動植物が確認されており、これらを含めて地域環境に及ぼす影響を最小限にとどめる保全対策を実施しながら、建設を進めています。また、工事に伴い排出される濁水や産業廃棄物については、適正処理とリサイクルに取り組み、環境負荷の低減に努めています。

これらの活動をより体系的におこなうため、2001年8月に環境の国際標準であるISO14001の認証を取得し、更なる環境負荷の低減を目指して活動しています。

具体的には、「小丸川に夢を築く」という理念のもとに、

- 地域との環境保全に関する協定並びに法規制を遵守し、地域社会との協調
- クマタカ、コウヤマキなどの動植物をはじめとする小丸川流域の豊かな自然の保全
- コンクリートがらなど廃棄物の適正な処理と有効利用、リサイクルの推進
- 工事完了にあたっては、自然の回復と生き物にやさしい環境の創出

などに努めています。

今回は、皆さまに私たちの環境保全への取り組みを知っていただくため、この「小丸川発電所建設所環境アクションレポート」を発行しました。みなさまの率直なご意見、ご感想をお待ちいたしております。

私たちは、今後とも地域の皆さまのご理解とご協力を得ながら、環境にやさしい建設工事を進めてゆく所存です。

2005年6月



小丸川発電所建設所長
久田 幹夫